

グアテマラ経済(2008年6月)

平成20年7月

在グアテマラ日本国大使館

『6月の主な動き』

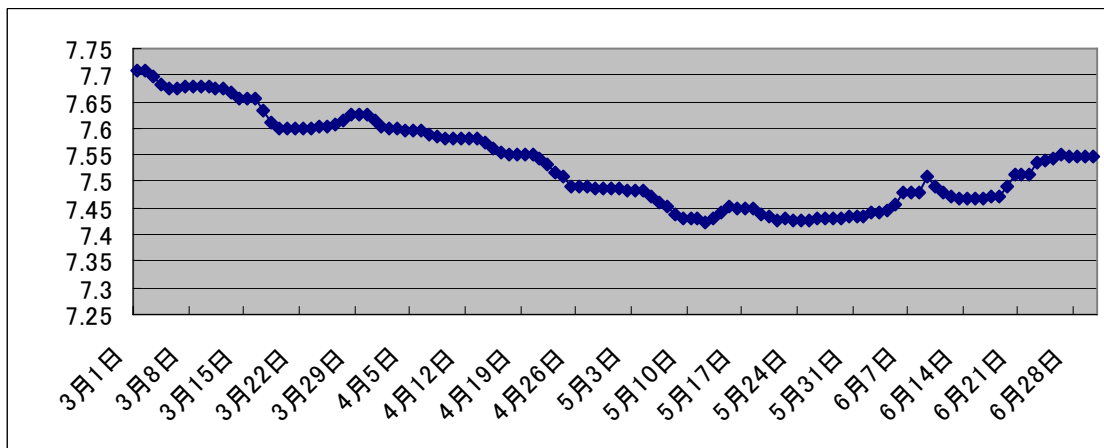
- 6月の消費者物価指数は、年率で 13.56%上昇は、1994 年5月(14.14%)以来、14 年ぶりの最高値を記録した。
- 今期減産が見込まれている砂糖の輸出が伸び悩み、1 月から 5 月までの輸出量は、重量で前年比 57.2%減の 359.8 千トン、金額で同 58.5%減の 95.1 百万米ドル。
- コロン大統領は、国内の物価高騰に対処する目的で、食料品等 10 品目の輸入品について、関税撤廃等の措置を中米経済担当閣僚理事会(COMIECO)に願い出ると発表。
- 2008 年度上半期の歳出:は 17,040.9 百万ケツアルで、予算執行率は 40.1%。

1. 主な経済指標

(1) 為替レート(中銀)

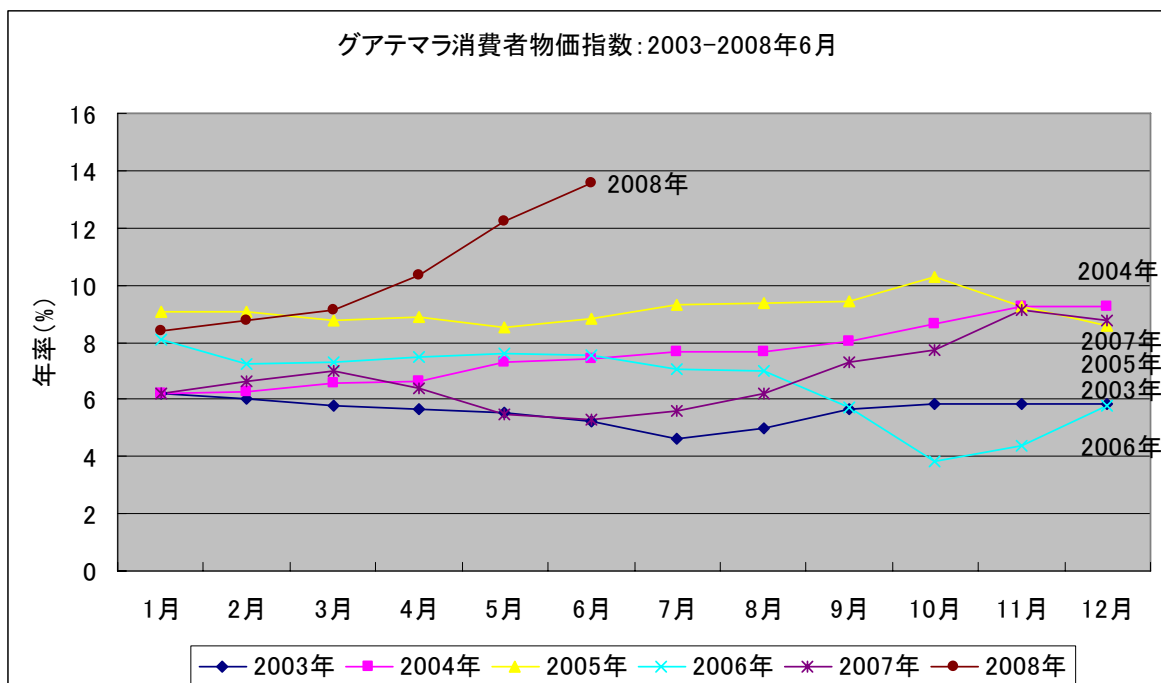
6月、ケツアルの対ドル相場は、1ドル=7.43-7.55 ケツアルのレンジで推移。3 月半ば以降ケツアル高ドル安の傾向が続いたが、6 月に入り若干のケツアル安ドル高に転じる。

＜ケツアル対米ドル相場(2008 年 3-6 月)＞



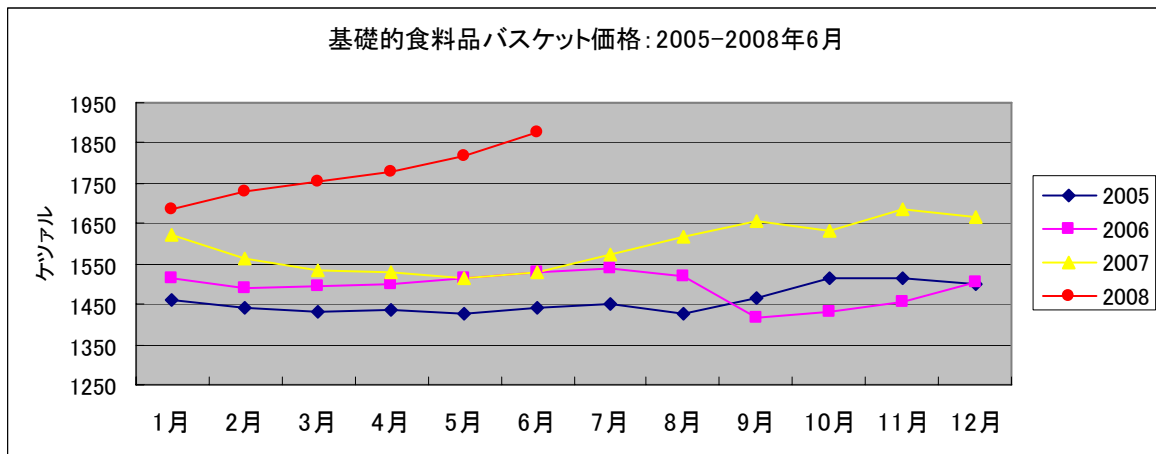
(2) 消費者物価指数(国立統計院 INE)

6月の消費者物価指数は、前月比1.63%上昇、年率では13.56%、2008年1－6月累積では7.54%の上昇を記録。年率の上昇値13.56%は、1994年5月(14.14%)以来、14年ぶりの最高値である。また、2008年1－6月の累積値7.54%は、2007年1－11月の累積値(7.74%)にほぼ匹敵する。中銀は、2008年インフレ目標を $5.5 \pm 1.5\%$ (4.0－7.0%)に設定しているが、1月以降、目標値以内に納まった月はない。



部門別では、食品・飲料(アルコールを除く)・外食部門(年率 18.93%)、運輸・通信部門(20.75%)、電気代等を含む住居関連部門(13.36%)のインフレが引き続き特に顕著となった。

基礎的食料品バスケット(Canasta Basica de Alimentos: 1世帯 5.38人分のカロリーとタンパク質の摂取を満たす最低限の食料 26品目)の価格は、前月比 55.82 ケツアル(約 7.45 米ドル)上昇し、1,875.43/月ケツアル(約 250.39 米ドル)となる。基礎的食料品バスケットの価格は、本年1月以降6ヶ月連続で過去最高値を更新しており、年率換算では 17.17%の上昇となっている。



＜前年比で価格高騰が特に著しい食料品（基礎的食料品バスケット構成要素）＞

- | | |
|----------------------|----------------------|
| ・ 食事用パン：前年同月比＋50.53% | ・ 米（二級）：前年同月比＋38.54% |
| ・ 菓子パン：＋48.00% | ・ 卵：＋21.24% |
| ・ 食用油：＋57.01% | ・ フリホール豆：＋18.90% |
| ・ 粉ミルク：＋43.87% | ・ トルティージャ：＋16.33% |

基礎的生活バスケット（Canasta Basica Vital：基礎的食料品バスケットに、生活に不可欠な財と最低限のサービスを加えたもの）の価格も、前月比 101.86 ケツアル（約 13.60 米ドル）上昇し、3,422.32/月ケツアル（約 456.92 米ドル）を記録した。基礎的生活バスケットの価格も、本年 1 月以降 6 ヶ月連続で過去最高値を更新しており、年率換算で 17.17% の上昇となっている。

インフレの進行により、国民生活が圧迫されている状況下、対応を迫られたコロン大統領は、10 品目に及ぶ輸入品の関税撤廃等の措置を検討すると発表した（2. 国内経済トピックス（1）参照）。

（3）政策金利

18 日、国家金融審議会（JM）は、政策金利の引き上げを見送り、6.75% に維持するとした。

（4）貿易統計（中銀）

5 月の輸出は 659.3 百万米ドル（前年同月比 2.9% 減）、輸入は 1,324.2 百万米ドル（前年同月比 12.9% 増）。

2008 年 1 月から 5 月までの輸出総額は 3,268.2 百万米ドル（前年同期比 11.8% 増）、輸入総

額は6,205.2百万米ドル(前年同期比17.5%増)で、貿易収支は2,937.0百万米ドルの赤字(前年比24.5%増)。

輸出においては、今期減産が見込まれている砂糖の伸び悩みが顕著となり、1月から5月までの輸出量は、重量で前年比57.2%減の359.8千トン、金額で同58.5%減の95.1百万米ドルに留まっている。なお、カルダモンについても、1月から5月までの輸出量が、重量で前年比34.6%減の9.5千トンに留まっているが、金額では同24.5%増の73.1百万ドルとなっている。

(5) 海外送金(中銀)

6月の海外送金は、前年同月(356.5百万米ドル)に比べ27.9百万米ドル(7.8%)多い384.3百万米ドルに上った。また、2008年1月から6月までの送金総額は2,140.9百万米ドルで、前年同期(1,969.7百万米ドル)を、171.2百万米ドル(8.7%)上回った。

他方、6月、米国から空路で強制送還されたグアテマラ人不法移民は2,097人に上り、2008年1月から6月までの強制送還者合計は、前年同期比19.5%増の12,561人となった。

2. 国内経済トピックス

(1) コロン大統領による物価高騰対策の発表(6月1日)

1日、コロン大統領は、原油及び穀物の国際相場高騰の影響による国内の物価高騰に対処する目的で、10品目(粉ミルク、黄色トウモロコシ、鶏卵、小麦粉、トウモロコシ粉、食用油、鶏肉、コメ(二級)、肥料、殺虫剤等の農業投入財)の輸入品について、関税撤廃等の措置を中米経済担当閣僚理事会(COMIECO)に申請すると発表した。

カバジェロス経済大臣は、「今回の関税撤廃措置は、中米経済担当閣僚理事会(COMIECO)の承認待ちではあるが、個別には既に各国より合意を取り付けている」と述べたが、関税撤廃措置の国内生産者に与える影響を懸念する声があがっている他、これらの無関税輸入分が、グアテマラを経由して他の中米各国に横流しされることがないよう、適切な処置が取られるべきであるとの意見もある。

(2) コロン大統領による基礎的穀物増産策の発表(6月2日)

2日、コロン大統領は、基礎的穀物の増産と食糧確保の為、1974年に制定された「基礎穀物栽培の義務と促進に関する法律」に基づき、大規模農場主に対し、穀物生産を義務づけると発表した。

「基礎穀物栽培の義務と促進に関する法律」は、100 マンサーナ(70ヘクタール)以上の農地・牧草地(以下「農地」)を所有する者に対し、その農地の少なくとも10%をコメ、フリホール豆、トウモロコシ、大豆、小麦等の基礎穀物栽培に充てることを義務づけ(第2条)、政府はその買い上げに関する最低価格を設定する(第7条)ことで生産者を保護するとし、違反者には500～2,000 ケツアルの罰金が課される(第8条)と規定している。なお同法は、施行後も十分に適用されず、これらの規定は死文化し、現在まで忘れ去られていた。

同法による穀物生産義務づけに対し、農業会議所や非伝統産品輸出業者組合(AGEXPORT)等、各方面から批判の声があがり、また、同法第7条により、政府による当該基礎穀物の最低価格設定が定められていること、および同第9条により、農牧省の許可無く基礎穀物の輸出入が禁じてられていること等、現行の憲法との法的矛盾が指摘されるなどした結果、コロン大統領は前言を撤回するに至った。

(3) 2008 年度上半期財務執行状況:大蔵省

大蔵省は、2008 年度上半期の財政執行状況報告書(7月9日発表、6月末日暫定値)を発表した。

・ 予算組み替え

2008 年度上半期、閣議決定の得られた省庁間の予算組み替えは450.1 百万ケツアルである。

＜組み替え執行後の各省庁予算＞

(単位:百万ケツアル)

		組替による 増減	計
大統領府	163.8	-26.6	137.2
外務省	250.4	+20.0	270.4
内務省	2,610.2	-	2,610.2
国防省	1,265.3	-	1,265.3
大蔵省	227.4	+16.2	243.6
教育省	6,500.0	-37.0	6,463.0
厚生省	3,000.0	-	3,000.0
労働社会保障省	351.6	+4.3	355.9
経済省	229.8	+12.9	242.7
農牧食糧省	1,230.5	+23.0	1,253.5
通信インフラ住宅省	3,000.1	-12.1	2,988.0

エネルギー・鉱山省	46.0	+1.0	47.0
文化・スポーツ省	331.5	+8.0	339.5
環境省	41.4	+3.5	44.9
大統領府直轄機関	2,020.3	+81.1	2,101.4
最高裁・憲法裁・選挙最高裁・会計検査 院・検察庁・国家災害対策調整委員会等	14,594.2	-89.4	14,504.8
国家弁護庁	47.1	-4.0	43.1
公的債務返済	6,625.8	-1.0	6,624.8
	42,535.5	0	42,535.5

・ 歳出

2008 年度上半期の歳出： 17, 040. 9 百万ケツアル(予算執行率 40. 1%)

(2007 年度上半期:42. 6%、2006 年度上半期:38. 9%、2005 年度上半期:38. 3%)

・ 各省別予算執行状況 (単位:百万ケツアル)

<予算執行率の高い省>

	予算	執行額	執行率
国防省	1,265.3	615.3	48.6%
外務省	270.4	125.1	46.3%
環境省	44.4	19.6	40.0%

<予算執行率の低い省>

	予算	執行額	執行率
文化・スポーツ省	339.5	81.0	23.9%
労働社会保障省	355.9	95.8	26.9%
農牧食糧省	1,253.5	382.2	30.5%

・ 歳入

2008 年度上半期の税收 :16, 598. 4 百万ケツアル(税收目標の 50. 2%)

※2008 年度の税收目標 :33, 083. 2 百万ケツアル

3. 対外経済トピックス

(1) プロジェクト・フェニックス再開の見通し(6 月 24 日)

カナダ資本の鉱産資源採掘企業 Sky Resources 社は、今年 1 月、国際市場における資金調達の困難を理由に、子会社であるグアテマラ・ニッケル社 (La Compañía Gatemalteca de Níquel: CGN) がイサバル県エル・エストールに予定していたプロジェクト・フェニックスの一時延期を決定したが、23 日、カナダ資本の HudBay Resources 社とともに、今年 8 月を目処に、合併事業として再開をはかることを発表した。グアテマラ・ニッケル社の株は、HudBay Resources 社が 79.7%、Sky Resources 社が 20.3% 保有することとなる。

Sky Resources 社は、2004 年にエル・エストールにおける採掘権を獲得して以降、2006 年にはフィージビリティ調査の結果を提出、2007 年 7 月に環境天然資源省の許可を取得し、ニッケル採掘に取りかかる予定となっていた。

(2) ソブリン債の格付の維持 (6 月 27 日)

投資格付け会社フィッチ・レーティングスは、グアテマラ国内のインフレ傾向を指摘しつつも、ソブリン債の格付けを維持すると発表した(外貨建て BB+(安定的)、自国通貨建て BB+)。

フィッチ・レーティングによれば、インフレの影響の国内貧困層への波及は憂慮すべきであり、食料品価格の高騰が内政に影響を与える可能性も懸念されるものの、安定した外貨準備高のレベル(約 4,700 百万米ドル)等に鑑み、当面の格付維持を決定した。